



全20品の商品は大好評！ 多くの人でにぎわいました。

## 野々市の味を東京で

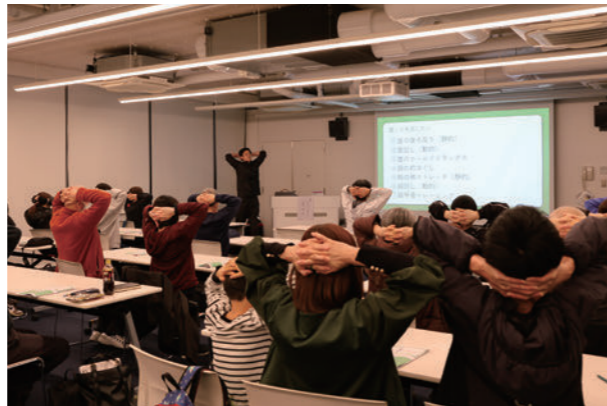
### 野々市ふるさとフェア in 東京

東京都にある石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」で、2月15日(日)に野々市市をPRするイベントを開催しました。野々市ブランドに認定されたお酒や蜂蜜などの販売や試食・試飲を通して、多くの人に野々市の魅力を伝えました。普段はアンテナショップに並ばない商品だったこともあり、売り切れになるものも見られました。これにより、市にゆかりのない人たちにも野々市を知ってもらう貴重な機会となりました。

## けがを防ぐ体づくり

### ストレッチ・柔軟性向上講習会

学びの杜ののいち カレードで2月17日(火)、スポーツ活動中に起こるけがの予防に効果的なストレッチについて学ぶ講習会が行われました。講師である理学療法士の倉見滉氏は、スポーツ活動で起こるけがのうち、ストレッチで予防できるものについて動画と実践で説明しました。肩こりに効くストレッチの説明では実際に体を動かさず場面もあり、参加者からは「いたたたー」「気持ちいい」などの声が聞かれ、ストレッチの効果を実感している様子でした。



肩こりに効くストレッチをみんなで実践！



狸々の誕生秘話や日本酒の飲み方の話などで盛り上がりました。

## 今しか味わえない「おりがらみ」で乾杯 新酒を語らう会

2月23日(月・祝)、郷土資料館 NoNo で新酒を語らう会が開催され、14人が参加しました。前半は、野々市の地酒「狸々」の造り手である中村酒造の社長の中村太郎氏が酒造りの基本や利き酒の方法を説明しました。後半は、中村氏と専務の河合弘氏を囲み、狸々など10種類の日本酒と料理を楽しみました。乾杯は狸々の季節限定酒「狸々おりがらみ」。「コクがあっておいしい」「チーズに合う」など好評で、参加者はさまざまな日本酒を飲み比べながら日本酒談義に花を咲かせていました。

## 支え合った仲間とともに 新たな一歩 市内小中学校 卒業式

3月13日(金)に中学校で、17日(火)に小学校でそれぞれ卒業式が挙行政、中学生494人と小学生560人が学び舎を後にしました。布水中学校では、若狭朋幸校長が「自信と希望を持って力強く生きていける人間力を身につけてほしい。自分を信じて仲間を信じて、心豊かにすてきな人生を歩んでください」と式辞を述べ、卒業生代表の安藤牙哲さんは「この3年間で学んだ強い心を持って、夢や理想に近づくために頑張っていこうと思います」と答えました。



3年を振り返り、仲間や先生、保護者に感謝を伝える安藤さん。

# まちな話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎227-6056

## かがやき無限大 ともに育む 椿の和 花と緑ののいち椿まつり 2026

野々市の春の風物詩である「花と緑ののいち椿まつり」が3月21日(土)、22日(日)に開かれ、多くの来場者を色鮮やかなツバキが迎えました。

メイン会場の文化会館フォルテでは、ツバキを題材にした絵・写真・短歌などの作品コーナーや、つばき油を使ったハンドバーム作りのワークショップなどが設けられました。今年は、野々市の勇士・富樫家通のイラストが描かれた等身大パネルが初めて登場しました。野々市出身の漫画家である姫川恵梨さんが描き下ろしたものです。参加者はパネルと一緒に写真を撮ったり、会場に設置してある刀や弓矢のおもちゃを手に取って家通になりきったり、思い思いに楽しんでいました。

野々市中央公園では、椿館ガイドツアーの参加者のほか、春の陽気に誘われた人たちがのいち椿館や椿山を訪れました。「こんな色のツバキがあるんやね」「知らなかったー」と今までなかなか見ることができなかった多種多様なツバキを堪能していました。



富樫家通の等身大パネル除幕式



書道パフォーマンス (明倫高校芸術部・書道)



ちぎり絵ワークショップ



花展



折り紙つばきコーナー



社交ダンス愛好会のステージ発表



つばき食堂



椿館ガイドツアーでは椿山も案内します。



2年振りにメイン会場がフォルテに戻ってきました。